

日本独文学会機関誌投稿要領（新）

（2016.1.30.の日本独文学会理事会で承認された新編集方針に基づき 2016 年度から適用）
（2018.9.28.の日本独文学会理事会の決定により，ドイツ語論文のレジюмеに関する規定を追加）

機関誌「Neue Beiträge zur Germanistik ドイツ文学」のいずれの分冊にも，原則として，特集テーマ関係論文，投稿論文，研究ノート，研究文献概観，マルジナリア，フォーラム，書評，新刊紹介，書誌のジャンルで掲載される。（ジャンルの説明は V を参照）新刊紹介は国内刊行誌にのみ掲載される。論文以外の投稿については，テーマや各ジャンルの本数を調整する必要があるので執筆希望の旨を投稿以前に編集委員会に知らせること。

I. 投稿資格

原則として日本独文学会会員に限る。

II. 投稿

- 1) 締切日（到着日基準）：国際誌 3 月 15 日，国内刊行誌 9 月 15 日とする。欧文によるものは国際誌・国内刊行誌，和文によるものは国内刊行誌のみへの掲載となる。
- 2) 締切日以降に到着した投稿原稿は，原則として次の締切日以降初めて開かれる編集委員会での審査対象となる。
- 3) 投稿に際しては，下記第 IV 項の全条件および第 VI 項に掲げる執筆枚数を遵守した原稿を送付すること。
- 4) 原則として，同一年度内に複数の論文及び研究ノート，（書評，マルジナリア等を除く）を投稿することはできない。
- 5) 本機関誌に掲載された原稿は，冊子刊行の 1 年後に電子ジャーナル化されるので，投稿原稿は，電子ジャーナル化の上，公開されることを了承したものと見なす。
- 6) 投稿に際しては，原稿本文とレジюме（IV の 2 で必要とされているジャンルのみ）を無記名でひとつのファイルとする。また本文中でも，執筆者の特定につながる表現は避けること。別ファイルに以下の（a），（b），（c）の事項を記し，また希望審査部門（「文学・文化」「語学」「教授法」のいずれか）と投稿原稿ジャンル（「論文」「マルジナリア」など）を明記すること。送付するファイルは 2 点となる。なお，図版の挿入がある場合は，それぞれの図版を別ファイルで添付・送付する。図版等使用の際，著作権所有者の同意が必要な場合があるが，それは執筆者自身が確認し，許諾を得ておくこと。
 - (a) 投稿原稿タイトル（和文の場合はドイツ語タイトルも），氏名（アルファベット表記も併記），連絡先住所，郵便番号，電話番号，メールアドレス（お持ちの方は必須）。これらは審査，採否の結果，書き直し依頼，校正ゲラ返送などの連絡に必要なものである。
 - (b) 送付原稿のキーワード 3～5。そのキーワードにもとづいて審査委員数名を選定する。

(c) 生年月日。35歳以下の執筆者の論文はドイツ語学文学振興会賞，36歳以上の執筆者の論文が日本独文学会賞の審査対象となる。

7) 欧文で投稿するときは，あらかじめしかるべきネイティブ・スピーカーにチェックしてもらおうこと。

III. 審査

- 1) 上記の送付締切日までに到着したものについて，順次査読を行い編集委員会が採否を決定する。
- 2) 採否の結果については編集委員会での決定後，速やかに投稿者に連絡する。

IV. 原稿について

- 1) 原稿は原則として未発表のものでなければならない。ただし，口頭発表のみが先行している場合は可とする（氏名等を記したファイルにその旨，明記すること）。既発表のものを根本的に改稿した場合には，どこが根本的に改変されたか，前に発表した論文名や書名とともに正確に記さなければならない。
- 2) 日本語による論文，研究ノート，研究文献概観にはドイツ語のレジюмеを添える。ドイツ語による論文，研究ノート，研究文献概観には英語またはドイツ語のレジюме（200語程度）を添える。マルジナリア，フォーラム，書評と新刊紹介にはレジюмеは不要。
- 3) 原稿は MS-Word（国内刊行誌への投稿の場合は一太郎 [Ver. 10 以降] も可）を用いて作成し，電子ファイルを編集委員会に送付する。パソコンを使わない方は，業者などにパソコン入力を依頼すること。手書き，タイプライター，ワープロ専用機による原稿は受け付けられない。
- 4) 原稿執筆にあたっては，後掲の「執筆要領」の各項に留意すること。

V. その他

- 1) 「研究ノート」には，大胆な構想を打ち出したもの・現在計画中の論文の構想を記したものなどが掲載される。
- 2) 「マルジナリア」には，日本やドイツ語圏における最近の文学・文化および文学・語学研究，ドイツ語教育の動向に関するエッセイが，「フォーラム」には最近出版されたドイツ文学・語学・教授法関係の研究書・翻訳，および「**Neue Beiträge zur Germanistik** ドイツ文学」に発表された論考に関する批判的な見解や提言などが掲載される。
- 3) 「研究文献概観」は，ある作家やあるテーマに関する過去の研究動向や，参照すべき文献に解説を添えて記したもの。

VI. 執筆枚数

	和文：用紙 A4, フォント MS 明朝体, ポイント 12 P, 余白は左右上下とも 2 cm, 30 行。レジユメの書式は右掲「欧文」のそれに従う。	欧文 (auf Deutsch) DIN A4, Seitenränder: 2 cm, Schrift: Times New Roman, 12 P, 30 Zeilen
論文	15 枚程度, Resümee: ca. 2 S.	ca. 18 Seiten
研究ノート	12 枚程度, Resümee: ca. 2 S.	ca. 15 Seiten
研究文献概観	15 枚程度, Resümee: ca. 3,5 S.	ca. 20 Seiten
マルジナリア	2-5 枚程度	2 bis 4 Seiten
フォーラム	2-5 枚程度	2 bis 4 Seiten
書評	2-5 枚程度	2 bis 4 Seiten
新刊紹介 (国内刊行誌のみ)	1 枚程度	nur auf Japanisch
書誌 (国内刊行誌のみ)	50 枚程度	nur auf Japanisch

図版 (モノクロに限る) を入れた場合には, その分だけ枚数を減らすこと。図版も電子ファイルで送付すること。

VII. 著作権

著作権は著者と日本独文学会の共有とする。刊行から 1 年を経た後, 日本独文学会理事会の承認を得て転載可能とする。

VIII. 投稿原稿送付先

投稿は郵送ないしは電子メール添付ファイルによる送付いずれか, あるいは双方による。

・ 郵送の場合

170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6, エースビル 603

日本独文学会

なお封筒には希望審査部門 (「文学・文化」「語学」「教授法」のいずれか) と原稿のジャンルとを必ず朱筆すること。

・ 電子メールによる送付の場合

URL: <http://www.jgg.jp/mailform/beitrag/index.html>